

第1回北海道地域学校協働活動推進協議会（道東会場）

【道東】平成30年7月19日（木）（帯広市・十勝合同庁舎） 参加者：169名

1 説明「地域学校協働活動推進のポイント」

説明者 十勝教育局教育支援課社会教育指導班主査 一ノ関 太郎
十勝総合振興局保健環境部社会福祉課子ども子育て支援室 子ども子育て支援係長 七 條 公 英

地域学校協働活動について、「国の動向や北海道の各事業の状況」、「今後の方向性」について説明がありました。また、放課後児童クラブの方向性については、「放課後児童健全育成事業」「放課後児童クラブ運営指針」「放課後児童支援員認定資格研修」について説明がありました。

参加者からは、「地域学校協働活動について理解を深めることができました。」「北海道の地域学校協働活動の取組の状況について知ることができました。」「学童の取り組むべき課題がわかりました。」などの感想が寄せられました。



2 講義・演習「障がいのある子どもや特別な支援を要する子どもへの対応について」

講 師 十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事（特別支援教育スーパーバイザー） 飯 岡 直 人

特別支援教育の現状や、子どもの理解について、事例を交えながら説明があり、特別な支援を要する子どもの理解を深めるために、配慮しなければならないポイントについても示されました。

演習では、事例を用いながら、子どもに対して、どのような指導や支援ができるのか、その方法等について協議しました。

参加者からは、「障がいの特徴や障がいのある子どもへの対応が具体的に分かってよかった。」「それぞれの子どもにあった支援の方法を考えることが大切だと感じました。」などの感想が寄せられました。



3 情報交流

進行 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 社会教育主事 休 宮 裕 貴

参加者が小グループに分かれ、グループワークによる情報交流を行いました。

参加者は、それぞれの立場で、地域での日頃の実践や課題、子どもの現状に関して意見交換を行い、子どもを理解する視点や地域での実践内容について、活発な議論が行われました。

参加者からは、「もっと話しあう時間がほしい。」「他地域の取組や工夫している話を聞いて参考になった。」「次に自分がやるべきことのヒントになった。」などの感想が寄せられました。



4 演習「資質向上のためのスキルアップ」

A 演習「子どもの体力向上につながるプログラム」

講師 NPO 法人幕別札幌内スポーツクラブ「Spo-RE(スポーレ)」

クラブマネージャー 小田新紀氏

子どもの体力や運動能力を高めるためのプログラムを参加者が実際に体験することをおして学びました。

はじめに、身の回りにある物や、安価ですぐに手に入る物を道具として使用した種目や、限られた活動スペースの中で手軽に行える種目などが紹介され、続いて、実際に体験を行いました。

参加者からは、「身近な道具で簡単に運動ができてよかった。楽しく実践できた。」「子どもたちともすぐに遊べそうなゲームの内容だったのでとても良かった。」などの感想が寄せられました。



B 演習「自然体験・外遊びを促すプログラム」

講師 帯広の森はぐくむ 施設長 日月

伸氏（木育マイスター）

自然体験や外遊びの意義や手法を、子どもたちと一緒に楽しく活動できるゲームなどの体験をおして学びました。

また、自然体験を行うときのポイントとして、「五感を働かせて活動させることが大切である。」と説明がありました。

参加者からは、「自然を身近に感じ、楽しめる内容でした。子どもたちも参加しやすいゲームでした。」「大人がやっても楽しく、レクリエーションや日常の活動に応用していけたらと思います。」などの感想が寄せられました。



C 演習「子どもの読書活動プログラム」

講師 帯広市図書館 嘱託職員 沼田陽子氏

「読書の楽しさを伝えること」や「絵本に興味を持ち続けさせる手法」、「読み聞かせを行う際の基本的なポイント」について学びました。

また、講師が読み聞かせの実演を行いながら、「読み方」や「絵本の選び方」の基本について説明し、参加者は、家庭などで子どもが読書に親しむためのヒントを学ぶことができました。

参加者からは、「改めて絵本の読み方を学び、参考になりました。」「とてもわかりやすく、実際に読み聞かせを聞いてみたいと思った。」「科学の本との出会い方が参考となり、勉強になりました。」などの感想が寄せられました。

